



我が国の中長期の政策課題について、斬新な政策提案を頂くため、経済財政政策担当大臣の下で「経済財政検討ユニット」と日本の「元気創造」会議を立ち上げて議論し、下記の内容を盛り込んだ報告書を取りまとめた。

「経済財政検討ユニット」 中長期の課題を中心に、大学教授や民間シンクタンクの研究員をメンバーとして、具体的な制度改革等の5つのシンボルとなるプロジェクトを提示。

シンボル  
プロジェクト ①

## エネルギー収益の循環による地域経済の活性化

○再エネ収益で社会インフラを支える「地域経営会社」の設立

シンボル  
プロジェクト ②

## 人口集積による広域自立圏の形成

○DX化と財政インセンティブによる広域コンパクト化計画

シンボル  
プロジェクト ③

## 挑戦する個人や企業を支える国の司令塔機能・エコシステムの強化

○革新的新事業庁(仮称)の創設、アントレ教育の強化、新調達制度の創設・運営 ○全世代型リスキリング国民会議の創設

シンボル  
プロジェクト ④

## データ活用による国民の健康度・企業価値の向上と医療保険の持続性確保

○保険者機能・コラボヘルスの抜本強化

シンボル  
プロジェクト ⑤

## 日本社会に根付く格差の解消

○「生まれ」による教育格差やジェンダー差別への取り組み強化

## 日本の「元気創造」会議

更に中長期に日本の目指す姿や新技術の社会実装に向けた制度改革等について、企業経営者や、各界の有識者の意見を聴取し、在るべき経済社会に向けた7つの柱(槍)を提示。

一ノ槍

## 若年期からの健康意識改革と全世代型健康診断による「プロアクティブケア社会」の実現

○ポイント還元等による全世代型健康診断の推進 ○若年期からのプレコンセプション・ケアの推進

二ノ槍

## いつでもスキルをアップデートし、能力を発揮し活躍できる「総リスキリング社会」の実現

○「リスキリング国民会議」の開催 ○地域の大学への「リスキリング国内留学プログラム」

三ノ槍

## 負の連鎖を断ち未来を拓くため、知識・技術習得に挑戦できる「学び自由化社会」の実現

○学びの選択肢や経済的支援の包括的なアドバイザー機能の充実 ○給付型・貸与型奨学金や教育訓練給付等の充実

四ノ槍

## 65歳以上も支え手となって自らを含む現役世代を支える「プラス5歳活躍社会」の実現

○在職高齢年金制度の見直し ○シニア就労を支えるアシストテクノロジー講習会や企業へのトライアル助成

五ノ槍

## 自律分散型インフラや多拠点居住等の推進による「新たな働き方・暮らし方」の実現

○自律分散型インフラの地域実証 ○多拠点居住等の新たな暮らし方・働き方に対応した制度設計

六ノ槍

## サポカー×地域安全インフラ整備による「自由に移動・活動できる社会」の実現

○サポカー/ レベル3自動運転×インフラ連携実証実験 ○レベル4自動運転サービスカーの開発・事業化支援

七ノ槍

## 経済活性化・社会課題解決を支える「スタートアップネットワーク」の実現

○公共調達時の入札資格支援や、スタートアップのソリューションと社会課題のマッチング支援 ○海外スタートアップの日本進出支援

新しい技術の徹底した社会実装